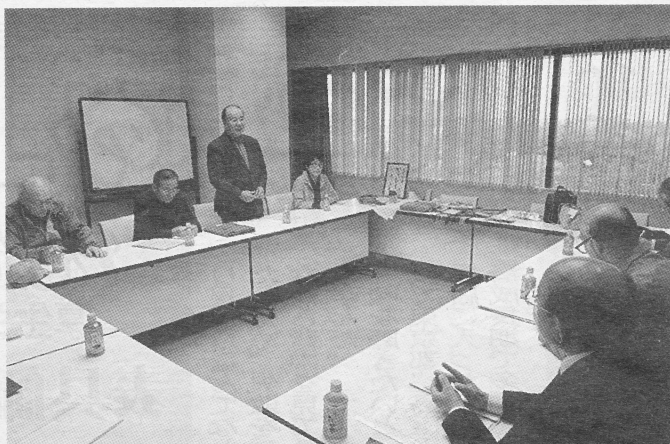


「からむし」連携で情報発信

5団体でネットワーク設立



からむしに関わる団体・企業が集まりネットワークを組織

奈良時代に上越から朝廷に納められ、上杉謙信が重要な収入源にしてい

たとされる「からむし」(イラクサ科)を栽培し、製品づくりや研究に携わる団体などによる「新潟県からむしネット」の設立総会が13日、謙信の居城があった上越市の上越文化会館で開かれた。古代から伝わる「からむし」の歴史文化をより深く知るとともに、広く社会に知らしめ、県の特産品として活用していくため、企業や団体が連携し二つの団体として活動してこうとう十日町市からむし研究会(妙高市)、からむし街道(相崎市)、天地豊作(新潟市)、十日町市からむし応援団(十日町市)の5団体が出席。各団体が活動内容や課題を報告し、

スタートライン16、17日に秋の感謝祭

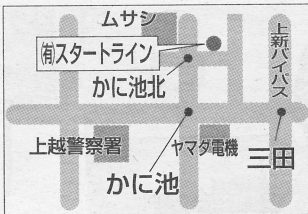
お買い得商品が多数 楽しいイベントも多彩

上越市下門前の新車・中古自動車販売業「有スタートライン」は16、17の両日に「秋の感謝祭」を開く。午前9時から午後6時まで。格安アウトレットカー(2日間だけの大

お買い得商品を多数取りそろえたほか、輪投げやガラポン抽選など子どもが楽しめるイ



上越市下門前の



ベントを計画。おでんや飲み物なども用意する。

来年の消費増税を前に車の購入に関する問い合わせもあると言

「からむし」の歴史文化をより深く知るとともに、広く社会に知らしめ、県の特産品として活用していくため、企業や団体が連携し二つの団体として活動してこうとう十日町市か

ソーラー 発電は京セラ
京セラソーラーFC
☎025-525-1169

お年寄りや園児と収穫祭

飛田テック「りんごの家」

上越市中箱井の飛田テック(飛田尚文社長)は11日、敷地内に整備したりんごの家で周辺の老人会会員や福祉施設の入

らむし応援団代表の村山好明さんが発起人となって参加を呼びかけた。設立総会に越後青雲の会(上越市)、妙高からむし研究会(妙高市)、からむし街道(相崎市)、天地豊作(新潟市)、十日町市からむし応援団(十日町市)の5団体が出席。各団体が活動内容や課題を報告し、

情報を共有した。今後は県内外の関係する団体に参加を呼びかけるほか、からむしについて国内に広く情報発信していく。代表に選ばれた村山さんは「からむしの良さを多くの人に知ってもらいたい。輪が広がってうれしいです。今後は日本や世界に情報発信したい」と話した。

シミヌキと高級品は **高調ライ**
上越市木田
TEL025-524-5735

冬季の交通確保 保へ万全体制

上越市が 除雪出動式

上越市は14日、同市寺町駐車場を除雪出動式を行った。受託業者108社から約2000人が出席。冬季の道路



雪車の鍵を手渡した

目。敷地内のリンゴ園に26本の木が植えられている。今年は台風などの影響で落としたリンゴも多かったが、甘くておいしいという。

飛田社長は「今年は大候の関係で収穫できなかったが、来年以降も趣向を凝らして楽しんでもらえるようにがんばります」と話していた。



保育園児の遊戯も披露されたりんごの家収穫祭

26日に土砂災害 学ぶ講演会

県消費者協会

消費者団体の新潟県消費者協会は26日午後1時30分から、直江津学びの交流館で土砂災害に関する講演会を開く。入場無料、25日までに申し込みが必要。

講師は国土交通省北陸地方整備局河川部の福田光生・建設専門官。土砂災害は昨年3月に板倉区国川、今年10月に伊豆大島で発生し大きな被害が出ている。講演は市民が知っておきたい防災対

「からむし」の歴史文化をより深く知るとともに、広く社会に知らしめ、県の特産品として活用していくため、企業や団体が連携し二つの団体として活動してこうとう十日町市からむし研究会(妙高市)、からむし街道(相崎市)、天地豊作(新潟市)、十日町市からむし応援団(十日町市)の5団体が出席。各団体が活動内容や課題を報告し、